



2021年11月8日

各 位

上場会社名 東急建設株式会社  
 代表者 代表取締役社長 寺田 光宏  
 (コード番号 1720)  
 問合せ先責任者 財務部長 小池 淳智  
 (TEL 03-5466-5061)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月12日に公表いたしました2022年3月期の通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2022年3月期 通期**連結**業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	285,000	7,000	7,300	4,800	45.87
今回修正予想 (B)	267,000	△3,600	△3,300	△4,800	△45.85
増減額 (B-A)	△18,000	△10,600	△10,600	△9,600	
増減率 (%)	△6.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	231,483	3,549	4,891	2,647	24.95

2022年3月期 通期**個別**業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	267,000	5,700	5,900	3,900	37.27
今回修正予想 (B)	250,000	△4,600	△4,500	△5,600	△53.49
増減額 (B-A)	△17,000	△10,300	△10,400	△9,500	
増減率 (%)	△6.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	216,245	2,474	3,054	1,262	11.90

## 修正の理由

### (個別業績予想)

売上高につきましては、受注時期のずれや一部工事の進捗遅れの影響等により完成工事高が減少し、170 億円減少する見込みです。利益面では、2021 年 7 月 26 日に公表いたしました「施工中工事における基礎杭の先端不良について」に係る損失見込み額を計上したことに加え、過年度に引渡しした土木工事において、隣接地に敷設した本来撤去すべき仮設物が残置されていたため、当該撤去費用の見込み額を計上したこと、及び過年度に引渡しした一部の建築工事において、施工不具合による瑕疵補修費用の増加額を見込んだことなどにより、営業利益は 103 億円、経常利益は 104 億円、当期純利益は 95 億円それぞれ減少する見込みです。

業績予想修正の要因となった現在施工中工事の不具合や、過年度引渡し物件に係る瑕疵補修費用の発生に対し、当社では、安全・品質・工程管理等のコア業務に関する技術員教育の強化、本社による作業所支援体制の強化、特定工事に対する専門委員会の設置等、品質管理体制の強化による再発防止策を徹底し、施工品質の向上に努めてまいります。

### (連結業績予想)

個別業績予想と同様の理由により修正するものです。

なお、2022 年 3 月期の配当予想につきましては、前回公表値から変更はありません。自己資本配当率(DOE) 4.0%以上を目標とした配当方針に基づき、1 株当たり年間配当金 40 円(中間配当金 20 円、期末配当金 20 円)を予定しています。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上